

1 アルファベット：英語のA～Zまでの26文字のこと。

- ◎大文字：A, B, C…Zまで。文の書きはじめや人名・地名・言語名の1文字目に使われる。
- ◎小文字：a, b, c…zまで。大文字以外のすべての英文に使われる。

2 英文の種類：平叙文・疑問文・否定文の主要な3種類と、命令文などがある。普通英文には、主語と動詞が必ずある。

- ◎平叙文：「～です、～します」などの普通の文。
- ◎疑問文：「～ですか、～しますか」など人にたずねる文。疑問文に答える文を応答文と言う。
- ◎否定文：「～ではない、～しない」など打ち消しの文。

3 記号：英文を書く場合、次のいくつかの記号が使われる。

- ◎ピリオド [.]：日本語の「。」のように、文の終わりにつける。(例) My name is Mike Davis.
- ◎カンマ [,]：日本語の「,」のように、文の区切りや呼びかけ・Yes/Noの後などにつける。
(例) Mike, this is Ken.
- ◎クエスションマーク[?]：疑問文の後ろにつける。(例) Is this a book?
- ◎エクスクラメーションマーク[!]：びっくりした時や、強めたい時に使う。(例) How big!
- ◎クォーテーションマーク[“ ”]：だれかが言った言葉を引用する時、カギカッコのように使う。
(例) Mike said, “I went to Tokyo.”
- ◎コロンの[:]：説明を加える時や、例を示す時に使う。
(例) I have some animals: a dog, two cats and a bird.

4 名詞：人やものの名前をさす。数えられるもの(可算名詞：book, penなど)と、数えられないもの(不可算名詞：idea, waterなど)がある。

- ◎単数：数えられる名詞のうちの1つをさし、a(n)が前にくる。(例) a dog
- ◎複数：数えられる名詞のうち2つ以上をさし、後ろに(e)sがつく。(例) name
- ◎数えられない名詞にはa cup of (熱い飲み物)、a glass of (冷たい飲み物)、a piece of (紙など)、a pair of (靴や手袋など)などの語を使う。

5 冠詞：日本語にはない。不定冠詞と定冠詞があり、名詞の前につく。

- ◎不定冠詞：a(n)のこと。たくさんあるもののサンプルとして一つ取り上げる時に使う。次にくる名詞が「アイウエオ」のような母音で始まる時はanを使う。(例) I have a dog.
- ◎定冠詞：theのこと。theは一度話題に出てきたもの、「例の」といった、話している内容が分かる時に使う。次にくる名詞が「アイウエオ」のような母音で始まる時は発音が「ズィ」となる。(例) I have a dog. The dog is black.

6 動詞：動作や状態を表す。

- ◎be動詞：原形be、現在形am, are, is、過去形was, were、過去分詞been、現在分詞beingのこと。「～である、～にある、～にいる」というような状態や存在を表したり、ほかの一般動詞といっしょに進行形や受け身形などを作るのに使われたりする。
(例) I am a student.

- ◎一般動詞：be動詞以外のすべての動詞。動きのある動作を表す。(例) play, sit, like
 - ・原形：辞書を引くと一番最初に出てくる形。命令文やtoの後にくる場合(不定詞)に使う。
 - ・現在形：現在の(毎日やっているような継続的な動作を表す。主語がhe, she, itなど三人称単数の時は後にsやesがつく。(例) I play tennis every day. He plays tennis every day.
 - ・過去形：過去に起こった動作を表す。原形の後に(e)dがつく。(例) I played tennis yesterday.
 - ・過去分詞：be動詞やhaveなどと共に使われて、受け身形[be + 過去分詞]や現在完了形[have + 過去分詞]を作る。すぐ前の名詞を説明する時(後置修飾)も使われる。一般動詞の過去分詞は、後に(e)dがつく規則動詞と、いろいろな変化がある不規則動詞の2種類ある。
 - ・現在分詞：原形の後ろにingをつけた形。進行形[be + ing形]などを作る。すぐ前の名詞を説明する時(後置修飾)も使われる。

7 動詞のいろいろな形

- ◎時制：どんな言語にもある、「現在」「過去」「未来」などの時。
 - ・現在形：現在の(毎日やっているような継続的な)動作を表す。
 - ・過去形：過去に起こった動作を表す。
 - ・未来形：未来に起こるだろうことを予想する。動詞の前にwillやbe going toをつける。
(例) I will play tennis tomorrow.
 - ・現在完了形：過去のある時点から現在までずっと続いている動作を表す、日本語にはない時制。形は[have(has) + 過去分詞]で表す。(例) I have been in Tokyo for two years.
- ◎進行形：進行中の動作を表す。形は[be + 現在分詞]。(例) I am playing baseball now.
- ◎受け身形(受動態)：「～される」ということを表す。形は[be + 過去分詞]。
(例) English is spoken in Australia.

8 形容詞：名詞の様子を表す。次の3つの変化形がある。

- ◎原級：ただ単に様子を表す形。(例) tall, beautiful ※asではさむと「～と同じ」の意味になる。
- ◎比較級：別の物と比較する時使われる。(例) taller, more beautiful
- ◎最上級：「一番～だ」という時使われる。(例) the tallest, the most beautiful

9 副詞：動詞・形容詞・副詞の様子を表す。形容詞と同じく原級・比較級・最上級の3種類の変化形がある。

- ◎動詞の様子：(例) He runs fast. (彼は速く走る) →走る(動詞)様子の説明。
- ◎形容詞の様子：(例) He is very tall. (彼はとても背が高い) →背の高さ(形容詞)の説明。
- ◎副詞の様子：(例) He runs much faster. (彼はずっと速く走る) →速さ(副詞)の様子を説明。

10 英語の分析

- ◎文字：a, b, c... zまで26の文字(アルファベット)がある。文の書き始めや人名・地名などの1文字目だけ大文字を使い、あとは小文字で書く。
- ◎単語：1こ以上の文字が組み合わさって意味をもつもの。(例) pen, desk
- ◎連語：2こ以上の単語が組み合わさって、単語とは別の特別な意味をもつもの。(例) a lot of
- ◎句：日本語の文節にあたる、意味をもつ2こ以上の単語の組み合わせ。(例) in Japan, at five
- ◎節：主語と動詞がある部分のこと。(例) I hope that you can come to my house today.
- ◎文：主語と動詞があり(命令文以外)、大文字で始まり、ピリオドで終わるまとまり。